

「名産研のテレ・ラーニング」は
eラーニングやオンデマンドセミナーとは一線を画したインター
ネットを使わず社内環境だけで何度でも受講ができ、講師と質疑
応答もできる研修方法です

『創造的な問題解決手法:TRIZ』を 習得しよう!

～ヒット商品、ダントツ商品開発のための体系的手法(TRIZ編)～



講師 / 片桐 朝彦 (かたぎり ともひこ)
(株)アイデア シニアコンサルタント

TRIZ(Theory of Inventive Problem Solving)は、数百万件に及ぶ世界中の特許を分析し、その問題解決に至るプロセス、解決策の発想パターン、技術的な進化パターンなど、体系化された「創造的な問題解決の手法」です。

今までにない画期的な製品の開発や新規事業への参入を目指すとき、既存の知識や技術を活用しつつ新しいアイデアを生み出すスキルが必要になりますが、TRIZは特に以下のような場面で役立ちます。

1. 問題解決：新製品の開発や新規事業において、直面する課題や障害を解決するために使用されます。TRIZは既存の解決策を超えた創造的なアプローチを提供します。
2. アイデア発想：新しいアイデアや革新的なアプローチを生み出すために、TRIZの発想ツール「40の発明原理」、「18の進化パターン」、などを活用します。
3. 競争力の向上：他社との差別化を図るために、TRIZを用いて独自の価値提案を開発します。
4. リソースの最適化：限られたリソースを効率的に活用し、コストを削減しながら高品質な製品を開発するために、TRIZの手法を活用します。

本講座では、TRIZを活用するための実践テクニックについて、例題を使った演習により体験してもらうことで、実務における技術課題に適用できるレベルを目指します。

※受講期間中は実務における効率的、効果的、網羅的なアイデア発想を支援するツール「IDEA-TRIZ Toolbox」の期間限定ライセンスが発行されます



講師 / 片桐 朝彦

プロフィール

- 1983年 株式会社コガネイ入社
主に電磁バルブの研究・解析・企画・開発・マーケティング業務に従事
- 2004年 製品企画室にて、開発部門革新プロジェクトを創設
- 2006年 QFD・TRIZ・TM活用による新製品開発をプロジェクトリーダとしてけん引。以降、開発手法を活用した新製品開発の推進、および各部門への展開を実施
- 2013年 株式会社アイデア入社 シニアコンサルタント
以降、100社以上の企業にて新規事業創出、新製品企画、新製品開発、技術課題解決、人材育成などのプロジェクトを支援
- 2022年 山口大学大学院技術経営研究科 非常勤講師

主な著書・寄稿

日刊工業新聞社 機械設計(2009年12月号)、「TRIZ活用で生み出した新製品コガネイの高速2ポートバルブIMPACT-V」、「TRIZで実現する開発プロセス革新」、日経BP社 日経ものづくり(2010年10月号)、「売れる商品作りを目指して開発革新 ～QFD/TRIZ/タグチメソッドを駆使」、日刊工業新聞社 機械設計(2014年5月号)、「断トツ商品を実現する設計者のための問題解決手法再入門」

講座概要

講座タイトル	『創造的な問題解決手法:TRIZ』を習得しよう!
学習対象者	イノベーションを目指す、企画者、技術者、社内外で起業やプロジェクトを目指す方
前提知識	不要
習得目標	TRIZを活用した創造的な問題解決のプロセスを、例題を使った演習で体験してもらうことにより、実務における技術課題に適用できるレベルを目指します。
講義時間	3時間
質疑・相談時間	オンライン(zoom) 基本1時間/回 程度
テキスト	PDF資料

カリキュラム

はじめに	【演習】 普段のアイデア出し
第1章	TRIZ概要とTRIZによる創造的問題解決のプロセス
第2章	ステップ1:問題の本質化(問題をきちんと把握する)
第3章	ステップ2:TRIZの発想ツールで徹底的にアイデアを出す
第4章	ステップ3:アイデアの有効化(アイデアの評価、結合)
第5章	ステップ4:解決策の開発ロードマップへの落とし込み
第6章	ヒット商品、ダントツ商品開発のための体系的手法
まとめ	振り返り、実務で結果を出すためには



質疑・相談

- 講義受講後、講師と日時調整の上、オンライン(zoom)にて1時間程度の質疑が出来ます。単に講義を聞くだけに終わらず、疑問点の解消や自社課題の相談を講師に直接することで、納得感が得られます。
- 基本1回、オプションとして複数回の対応も出来ますが、追加料金(2万円/回)が必要です。
- Zoomでの開催方法は、事前に企業様から、又は弊所からの招待メールを講師に送ることで行います。

受講方法

- Webにてお申込みを頂くと、担当から確認メールにて詳細なご案内をし、事前に研修契約書を交わした上で、提供される録画媒体(USB等)に講義録画をダウンロードして送付いたします。(郵送又は持参)
- 講義録画を社内ネット環境で、対象とする複数の社員様に受講願ひ、その進捗管理は管理者様に一任します。
- 送付後1か月期間で社内にて随時受講して頂き、期限後に録画媒体を送付願ひ、当方で消去後返送いたします。
- 質疑日時は受講期間内でも終了後でも構いません。

料金

- 基本料金 5万円(質疑料金含む) 同社内での受講人数の制限はありません。
- テキスト(講師自著のPDF資料)及びツールのアクセス権は料金に含まれます。いずれも契約後の受講開始前にメールいたします。

申込方法

下記URL又はQRコードから必要事項を入力し送信すると、担当からメールにてご希望事項の確認や詳細案内をいたします。
<https://www.nisri.jp/chc/telelearning/index.html>



公益財団法人 産業と科学をつなぐ研究所。
名古屋産業科学研究所
 中部ハイテクセンター(CHC)

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目10番19号
 名古屋商工会議所ビル8F
 TEL(052)223-6639 FAX(052)211-6224
<https://www.nisri.jp> E-mail: chc@nisri.jp

